



※この物語はフィクションです。

C日程 3/1 (土) ~3/2 (日)

「モノノブの巻 3 勇の書」

【プロローグ】

君は日向忍者学校（ひゅうがにんじゃがっこう）で忍者修行中の新人忍者だ。
この前は、敵に捕まった「風のサッサ」を仲間と一緒に助け、日向の里には平和な日々が戻っていた。

しかし、
最近、日向の里の周りでは「マの書」を狙ったあやしい忍者が目撃されていた。
日向忍者学校の諸君！「マの書」の秘密を解き明かし、日向の里を守れ！



【壱】

里から少し離れた街中にイスケ先生と風のサッサはいた。
「イスケ、今日はなんで街中なんだ？」とサッサが言う。
「しっ！こんな街中でオレたちが忍者とバレたら困るだろ？ 色々な意味で。」とイスケ先生。
どうやら、あやしい忍者の情報が入ったとのこと。街中で一般の人にまぎれて行動しているらしい。
今回の任務は「あやしい忍者」を探し出し、尾行して情報を得ることだ！



【 弐 】

夜、教頭先生のまわりに皆集まっていた。

「で、調査の結果はどうだった？」

調査の結果、「マの書」は、

「マ」ではなく、「マ」と「田」と「カ」があわさった物だということが分かった。

3つの文字をあわせると「勇」。

つまり、「勇の書」だ。

サッサは言う。「勇の書…はじめて聞く。いったいどんなものなのか…」

イスケ先生も続く。「確かに… これは困ったな… って教頭？大丈夫ですか??」

突然、教頭先生が叫んだ。「え—————っ！！」

ビックリする2人。

教頭先生は続ける。「それ、知ってる。」

……

「ってか、持ってる。」

それを聞いて驚く、イスケ先生とサッサ。

どうやら、「勇の書」は、教頭先生の家々に代々伝わる巻物らしい。

「だから前回、教頭先生の命が狙われたのか…」

教頭先生の持ってきた巻物を開けると…



【 参 】

あやしい忍者の情報を集めると、元忍者学校の教師であり、

現在、三来図の国の家老である「幻五郎（ゲンゴロウ）」が巻物を狙っていた。

どうやら、日向の里をつぶそうと考えているらしい。

「巻物中の言葉どおり、今こそ皆で力を合わせる時だ！」

「国の姫様がなにも分かってない事を良いことに、幻五郎が国を自分の物にしようとしている。」

「明日、姫様の下に馳せ参じよう！！」

教頭先生の言葉は力強かった。



【 四 】

姫様は、幻五郎の直属の部下たちが、姫様に誰も近づけさせないように守っている。

作戦に参加する忍者たちは、それぞれ武器を持ち最後の戦いに備えた。

「皆、いくぞ！！」



【 五 】

厳しい戦いの後、無事姫様までたどり着いた忍者たち。

姫様に全ての出来ごとを話した。



「わらわが知らない間にそんなことになっていたなんて…」

ショックが隠せない姫様であったが…

「幻五郎はただちに追放しましょう！わらわもこれからがんばります！！」

…なかなか立ち直りも早い性格のようだ。

無事、全てを解決した功績をたたえ、生徒たちには勲章が授与された。

「これからもいつ、どこで、忍者の力が必要になるか分からない。皆、しっかり精進すんだぞ！」

こうして、三来図の国と日向の里に本当の平和が訪れることとなりました。

めでたし。めでたし…



忍者キャンプ ～日向の里の掟～ 完結





一方、その頃……

「おやかたさま～」

「一大事です！！姫が、姫様が気づきよりました！！」

『なに～！！して、手練の者どもは？』

「皆、やられました…」

『……』

『こうなつては、仕方があるまい。捕まる前にしばらく雲隠れじゃ。』

『今にみておれ日向の里。この借りは必ず、必ず返す！！』

次回「忍者キャンプ式幕 ～落日の日向～」

2014 年度の実施が決定！乞うご期待！！

